



つづく つながる 夢を育てる学び舎
国立二小だより

令和6年(2024年)4月8日
国立市立国立第二小学校
校長 内田 辰彦

新たなスタート

校長 内田 辰彦

校庭には、色とりどりの花がたくさん咲き、令和6年度(2024年度)が始まりました。二小の桜は種類も多く、染井吉野だけでなく、大島桜や枝垂桜、八重桜など多くの種類の桜が少しずつ咲く時期をずらしながら咲き始め、今がその盛りとなっています。その桜の花の下に、今年度は102名の1年生が入学してきました。これで通常の学級17学級、プラタナス4学級の総勢523名の児童数となりました。

本校の教育目標はあたたかく、かしこく、つよくの3点です。「あたたかく」では人間関係形成力を培います。また、1人1人がその子らしくいられる教育環境を創っていきます。「かしこく」では基礎的・基本的な学力の定着を目指します。さらに、個別最適で協働的な学びをすすめていきます。「つよく」では、体力・創造力・粘り強さを育てていきます。また、健康で安心・安全な教育環境をつくっていきます。今年度の重点目標は「あたたかく」としました。

この3月に卒業した昨年度の6年生は、この教育目標について次のようなメッセージを残してくれました。「あたたかく」友達と協力し合い、1人1人を大切にしよう。「かしこく」その場に適した判断をし、自分の意見を伝えよう。「つよく」最後まで諦めず、挑戦を続けよう。どれも素敵なメッセージです。このメッセージのような姿を目指していきたいと思いました。

今年度は低学年で遠足を行う予定です。また、5年生は立川のグリーンスプリングス内に開設した英語体験施設であるTokyo Global Gatewayに行く予定です。工事に伴ってプールが無くなったことに関連して5・6年生は、くにたち市民総合体育館内にある温水プールを活用します。低学年から実施したかったところですが、学校では低・中学年ではプールの水を抜いて水深を浅くして利用していますが、市民プールではその対応ができないため、高学年だけの計画となりました。4年生以下は昨年度同様八小のプールを利用します。学習では、AIを活用して1人1人の定着度に合わせた問題を出題し、学習の定着度をあげていく学習ソフトMonoxer(モノグサ)を、1人1台端末を使いながら3年生以上で活用します。2年生は1人1台端末の活用慣れた2学期から活用します。1年生は状況を見ながら活用について判断します。登校班の廃止に伴い、各学期の始めに「いってらっしゃいの日」を設定して、学校・子供・保護者・地域が一体となった交通安全指導を行います。1学期は明日の9日から12日までの4日間、教員が登校の時間帯に各通学路に行って登校指導をしたり、高学年が行う登校支援を見守ったりします。働き方改革の一環として、通知表の所見欄の記入は3学期に1年間のまとめとして記入させていただきます。学校生活の様子については1学期と2学期の後半に個人面談を設定して、そのときにお伝えできるようにします。

そして、今年度はいよいよ新校舎が完成する予定です。3学期からは新しい校舎での学校生活が始まります。反対に1学期、2学期はこの校舎で学ぶ最後の機会となります。春、夏、秋の様子について、校舎の周りには豊かな自然や屋上庭園での自然環境を十分に活かした学習を行っていく計画です。

昨年度の工事の際に、伐採せず一時仮置きしてある樹木について、移転先が決まり移設を行っています、という連絡をいただきました。二小の春がまた別の場所に広がっていくと思うととても素敵な気分になります。

素敵な春と共に今年度がスタートしました。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。